

千電協会報



一般社団法人

千葉県電業協会

2019. 1 第45号



目次

(敬称略)

● ご挨拶

会長
千葉県知事
千葉県県土整備部営繕課 課長
(一社)日本電設工業協会 会長

五十嵐 治 美
森田 健 作
川上 勉
後藤 清

● 1年を振り返って

- ・第56回通常総会・懇親会
- ・平成30年度地区別会員交流会
- ・三県連絡会議
- ・千葉県高等学校工業教育研究会 「総合技術コンクール」
- ・委員会報告
 - 防災・渉外委員会
 - 技術・人材委員会
 - 総務・企画委員会

● 寄稿文

「京都電業協会との情報交換会を終えて」
「平成の30年を振り返って」
「煩惱の数を目指せ！」
「私の履歴書」

三和電設(株) 南山 和也
(株)大英電業社 小寺 眞澄
モデン工業(株) 辻 洋介
横川電機(株) 横川 祐喜

● 新入会員紹介(計 1社)

(株)嘉崎電設工業

● 賛助会員広告 (盤及び機器メーカー部門2社、照明部門3社 計 5社)

● 会員消息

● 会務報告

● 総会日程案内

● 協会役員

● 組織表

● 会員名簿

● 編集後記



(表紙等の写真)

濃溝の滝(君津市)

モデン工業(株)佐井田氏・提供

年頭のご挨拶



(一社)千葉県電業協会会長

五十嵐 治 美

新年、明けましておめでとうございます。

2019年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げますとともに、日頃から協会活動に対する皆様のご理解ご協力に心より御礼申し上げます。

さて、平成最後の年を迎えこの30年間を自分なりに振り返りますと、大変感慨深いものがあります。高度成長期から続いた右肩上がりの日本経済が、平成初期のバブル景気となってピークを迎え、その後長期低迷の時代に入り、「失われた20年」と呼ばれる長いデフレ不況が続きました。この長い停滞期には不良債権問題、銀行の破綻、リストラ、格差社会、就職氷河期、リーマンショックという暗い言葉が並びます。また東日本大震災などの自然災害にも多く見舞われており、文字通りの「平成」を願っていた私たちの期待通りではなかったようです。

しかしここ数年、わずかながら景気の回復を感じられるようになり、5年前に自民党による政権運営に変わって以来、少しずつ経済対策の効果も表れ、日本企業は元気を取り戻しつつあります。ただ社会は少子高齢化の色合いがより強くなってきており、景気が回復していく過程において全国的に人手不足感が高まってきている状況です。仕事が増えてきているにもかかわらず、働き手を確保できないことから、仕事を受けられず事業継続を断念し、経営破綻に追い込まれる「人手不足倒産」が全国各地で相次いでいます。昨年の有効求人倍率は月平均して1.4を超えているわけですから、まさに1991年のバブル期の水準を超える勢いです。全ての業種、どの企業も人手が足りない状況に追い詰められています。

私たち建設業は以前から若者の入職希望者が少ないため、学生の就職難といわれる時代でも人手不足・人材不足に悩まされてきました。その理由は他の産業よりも長時間労働を強いられ、さらに週休2日制が実現できない職場環境と、仕事量の割には低賃金の報酬形態が敬遠の原因とされています。昨年は「働き方改革関連法案」も可決し、長時間労働の是正と公正な待遇の確保の目的に沿って、どの企業も職場環境の整備をしていかなければなりません。しかし地場の中小零細企業にとって、この働き方改革の実現には、世の中の

景気がより回復し、継続的に受注が見込め、経営が安定しない限りは、会社の収益を圧迫され、中には廃業に追い込まれる企業も出て来るでしょう。

当協会では早速、会員向けに「中小企業（電気工事業）の働き方改革問題」という資料を委員会にて作成し、地区別会員交流会にて第1回目の説明会を行いました。その後、引き続き経営研修会では、専門の社会保険労務士を講師に招き基本的な考え方と取り組みをテーマとして開催しました。この時の参加者からは「これからの建設業には働き方改革の実現が必要なこと」と賛同しながらも、「休暇、時短、待遇面において経営的に耐えられるのか」という意見も出て、皆複雑な面持ちでした。

しかし国が進めている改革ですから、今年は「働き方改革」のメリットを追求した前向きな課題に替えて、「労働生産性の向上」と「離職率の低下」に注目し、この先10年の「魅力ある協会創り」に向けてこの難題に取り組んでいこうと考えています。また引き続き協会事業の三つの柱である、「千葉県との防災協定に基づいた防災減災への取り組み」、「人材育成、就労支援活動」、「電気技術及びその知識の普及」を中心に実践的な活動も進めて参ります。

昨年も日本は大きな災害に見舞われました。大阪北部地震や北海道胆振東部地震による塀の倒壊や大停電、大型台風21号・24号における風雨による被害など今までに災害が起こらなかった地域も巻き込まれました。そこで、防災減災について体現化している京都電業協会を訪れ、意見交換を行いました。こちらの協会では京都府を始めとして近畿地方1府5県の電業協会との間で「近畿6電業協会・災害時等における相互応援協定」を締結しています。当協会も千葉県との防災協定書の実効性を確立するため、埼玉県・神奈川県との両電業協会と三県にて「災害時の相互応援に関する協定」を結んでおりますが、より広範囲での協力体制の必要性を感じました。

総務・企画委員会では千葉県内の工業高校への出前事業や技術コンクールの審査員を務める傍ら、昨年も「CCIちば」主催の小・中学生向けに建設業の「ものづくりの楽しさ」を伝えるための授業に参加しました。より若年層にも電気工事業の姿をアピールできる活動の場を増やしていきたいと考えています。

さて、10月からは消費税が10%に引き上げられるため、折角の景気回復基調に水を差し、再び個人消費が落ち込むのではないかと危惧を感じています。しかし、日本社会は少子化による人口の減少が続く中、年金や社会保障を維持していかねばならず、増税もやむを得ないという判断は当然のことです。

いよいよ今年5月から新しい元号に代わります。平成という時代において、私たち建設業に従事する者は何度も困難な局面に立たされてきました。しかし、人々の生活に欠かせない「建物やインフラ整備」を担う重要な業種として、次に来る新しい時代には「未来に明るい建設業」を築き上げなければなりません。

最後に、協会会員の皆様、御家族の方々、関係各位の皆様のさらなるご発展とご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



知事年頭のごあいさつ



千葉県知事

森田健作



明けましておめでとうございます。

一般社団法人千葉県電業協会の皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

日頃より、皆様には、電気工事業に関する知識の普及・啓発、電気技術の向上等に積極的に取り組まれるなど、本県の電気業界の健全な発展に御尽力をいただくとともに、県政の推進に御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年は、開催まで1年半あまりとなった東京オリンピック・パラリンピックの成功に向けて、競技会場の整備や都市ボランティアの育成など、各種準備を進めるとともに、総合計画「次世代への飛躍 輝け！ちば元気プラン」に基づき、各種施策を着実に実施してまいります。

県民の「安全と安心」については、あらゆる災害に対応した訓練を行う「消防学校・防災研修センター」の供用をこの春開始し、防災教育・訓練の充実強化を図ります。また、防犯ボックスや防犯カメラの設置促進等により、地域防犯力の一層の向上を図るとともに、関係機関と連携して、「電話de詐欺」の撲滅に向けて取り組みます。

子どもを安心して生み育てやすい環境を整備するため、保育所の整備等による待機児童の解消などに積極的に取り組みます。また、県民が健やかで生き生きと自分らしく暮らせる社会を目指し、地域の医療・福祉体制の整備や、医療・介護人材の確保・定着などを進めます。

社会基盤の整備については、成田空港において、第3滑走路の新設を含む更なる機能強化の合意を受け、現在、実施に向けた手続きが進められています。機能強化策の実現とともに、空港周辺的环境対策や地域づくりについて、しっかりと取り組んでまいります。また、圏央道の2024年度的全線開通や北千葉道路の未事業化区間の早期事業化に向けて

取り組めます。

県経済の活性化については、「第4次ちば中小企業元気戦略」に基づき、前向きに挑戦する中小企業を全力で応援していくとともに、働き方改革の推進に取り組んでまいります。また、「第3次観光立県ちば推進基本計画」を策定し、更なる観光振興に取り組んでまいります。

農林水産業については、落花生「Qなっつ」をはじめ、千葉の素晴らしい農林水産物を国内外の皆様にお届けするとともに、水揚げ量日本一の銚子漁港の施設整備を進めるなど、生産者や関係団体と一体となって力強い農林水産業を創り上げてまいります。

新たな年号を迎えるこの節目の年におきましても、「次世代の若者や子どもたちが誇れるような千葉県の実現」に向け、引き続き全力で取り組んでまいります。

結びに、一般社団法人千葉県電業協会のますますの御発展と、会員の皆様の御活躍を祈念申し上げます、年頭のあいさつといたします。



年頭のごあいさつ



千葉県県土整備部営繕課 課長

川 上 勉



新年明けましておめでとうございます。

一般社団法人千葉県電業協会の会員の皆様には、千葉県の営繕行政の推進にあたり、日頃より御理解と御協力を賜り、心より御礼申し上げます。

公共建築物は、行政、教育、文化、福祉など様々な分野の行政サービスを提供する拠点として、また、県民の貴重な共有財産として、優れた品質であることはもとより、地域や環境と調和し、災害に強く、人に優しい施設であることが求められます。

このため千葉県では、環境、防災、ユニバーサルデザイン、ライフサイクルコスト等に配慮した、県民の皆様が安心・安全・快適に利用できる施設の整備に取り組んでおります。

また、千葉県では、築30年以上の建物が約7割を占めている県有施設の老朽化対策を進めるため、平成29年11月に「千葉県県有建物長寿命化計画」を策定し、庁舎、学校などの県有施設1960棟の対象施設のうち、その老朽化の状況などから、向こう10年間に優先して整備する558棟について整備計画を定め、建て替えるもの、大規模改修するもの、さらには出先機関を集約化して合同庁舎化するものなど、具体的な施設名を挙げて計画的に整備を進めていくこととしています。また、この整備計画に挙げられていないその他の施設についても、今後は、定期的な点検・診断に基づき建物をより健全に保つとともに、原則、長期的な視点から、修繕や改修等の実施内容や時期を示した維持管理計画書を作成し、この計画書に基づき計画保全を実施していくこととしています。

すでに、旧青少年女性会館の大規模改修工事や、農業総合研究センターの新築工事などを進めておりますが、今後もこの計画に基づき良好な県有施設の整備に取り組んでまいります。こうした中で、電気設備につきましては、高効率変圧器やLED照明器具の採用等により維持管理コストの低減を図るとともに、太陽光発電設備や蓄電池設備の設置等により環境や防災に配慮した設計を行っているところですが、このような電気設備工事は、専門性が高く、高度な技術を必要とすることから、多くの専門技術者を擁し、豊富な経験を有する会員皆様の御協力がぜひとも必要となってまいります。

会員の皆様におかれましては、日頃から、新しい法令・制度や最新技術の研鑽、後継者の育成、安全管理の徹底等に励まれておられますが、今後も引き続き、電気設備業界のリーダーとして県民生活の安全確保、公共福祉の増進、産業の振興に御尽力いただきますことをお願い申し上げます。

今年は新たな元号が始まる年となります。新たな年が災害のない穏やかな一年であり、千葉県の将来にとって希望の年となることを祈念するとともに、一般社団法人千葉県電業協会の更なる御発展と会員の皆様の益々の御活躍を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。



年頭のごあいさつ



一般社団法人 日本電設工業協会会長

後藤 清



謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

昨年は、異常な暑さに加え、6月の大阪北部地震、7月の西日本集中豪雨、9月の台風21号、北海道胆振東部地震と大きな自然災害が続きました。

一連の災害をみて、日本はつくづく災害大国で、想定もしない大きな災害に見舞われる危険性があること、そしてライフラインとしての電気の重要性を改めて認識した1年であったと思います。電気は水と並んで最重要なインフラです。電気設備について、堅牢で災害に強い設備への整備や古い設備のリニューアルなどの必要性を訴えてまいりましたが、今回の事例をみてその意を更に強くし、今後とも広く訴えてまいりたいと思います。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックを来年に控え、今年は大変忙しい一年になると思われます。また、2025年の大阪万博開催も決定し、業界としても大変期待するところです。

一方、電気設備工事業を含む建設業界では、技術者・技能者の高齢化や若年入職者の確保の困難さが深刻な問題となっています。

現在、官民を挙げて働き方改革への取組が進められており、本年4月からは改正労働基準法が施行されるなど、建設業界における「働き方改革」への対応が求められています。

このような状況を踏まえ、電設協は昨年4月、①長時間労働の是正等、②担い手の確保・育成と処遇改善への取組、③生産性の向上、④適正な受注活動及び取引の徹底、⑤関係機関・関係団体等との連携を柱とする「働き方改革に向けた基本方針」を策定しました。本年はより一層、長時間労働の是正、週休二日の推進等の働き方改革の実現に向け取り組んでまいります。また、計画期間の最終年度を迎える「新アクションプラン」についても、掲げる5つの重点目標の達成に向けて協会活動を進めてまいります。

平成から新しい時代への幕開けに際し、本部・支部及び各都道府県協会が手を携え、更には関係機関等との連携を強化しつつ、行動する電設協として「夢と生きがいのある電設業界」を目指してまいりたいと考えておりますので、引き続きご支援、ご協力を賜れば幸いです。

結びに、皆様のご繁栄とご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



1 年を振り返って

詳しくはホームページをご覧ください。他の活動についても掲載されています。

<http://www.tidenkyo.jp/>

第56回通常総会

開催日時、場 所	内 容	出席者・対象等
平成30年 5月24日 オークラ千葉ホテル	第56回通常総会 ・第1号議案 平成29年度事業報告について ・第2号議案 平成29年度収支決算の承認について ・第3号議案 平成30年度事業計画について ・第4号議案 平成30年度収支予算について ・第5号議案 任期満了による役員改選について	出席 49人 書 面 29人 委任状 28人 計 106人

第56回通常総会懇親会

開催日時、場 所	出席者・対象等
平成30年 5月24日 オークラ千葉ホテル	来賓 17名 会員 41名 賛助 29名 計 87名



地区別会員交流会

地区別	開催日	会場	出席者
千葉・市原地区	8月20日(月)	京成ホテルミラマーレ(千葉市)	地区会員15社15名
東葛・葛南地区	8月22日(水)	オリエンタルホテル東京ベイ(浦安市)	地区会員22社25名
北総・東総・山武・長生地区	8月 3日(金)	川豊 西口館(成田市)	地区会員 7社 7名
夷隅・安房・君津地区	8月24日(金)	東京ベイプラザホテル(木更津市)	地区会員14社15名



三県連絡会議

開催日時、場所	内容
平成30年 11月13日(火) ローズホテル横浜	<p>(提出議題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『働き方改革』の貴協会での取り組み方について(千葉県) ・建設キャリアアップシステムへの取り組みについて(埼玉県) ・各県での4週8休の完全実施の取り組みについて(埼玉県) ・各電業協会の経営改善方策について(神奈川県)

出席者数	
千葉県	5名
神奈川県	9名
埼玉県	6名



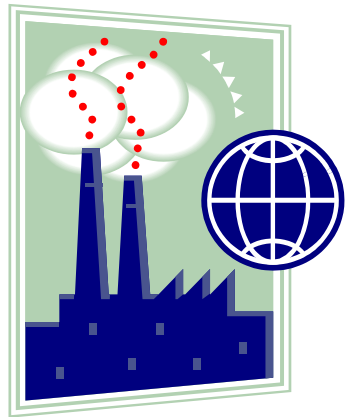
千葉県高等学校工業教育研究会「総合技術コンクール」

開催日時、場 所	内 容	出席者・対象等	備 考
12月1日(土) 県立市川工業高校	<ul style="list-style-type: none"> ・工業高校総合技術コンクール審査員派遣 ・電気工事を含む10部門による競技 ・大会参加者 県内9校 183名 	審査員 5名 ※千葉県電気工事工業組合と合同派遣	9/21 事前打合せ 10/18 事前打合せ



技術コンクールに出席した佐藤副会長より一言

今回より私自身は初の審査委員として、総合技術コンクールに出席しました。コンクールは全 10 部門に分かれ、当協会委員は電気工事部門の審査を担当しました。参加した生徒全員が皆、高校 2 年生とは思えないような手際の良さで、ほぼ制限時間内に課題を完成させ、結線ミスもなく、それぞれ素晴らしい出来栄でした。このような若い力を是非とも電気業界に、強いては当協会会員企業への入社を切に願っています。



委員会報告 防災・渉外委員会

委員長

南山 和也



防災・渉外委員会の平成30年度の活動についてご報告申し上げます。

災害防止事業としては、例年通り、防災体制の維持・向上を念頭に活動を積み重ねております。

県との災害応急対策としての防災体制としては、東日本大震災の際に、携帯電話による通話が機能しなかったことを鑑み、その他の連絡手段が必要との観点から、今年度の情報伝達訓練は、ショートメールによる連絡を実施してみました。予行演習の時点で、担当者を変更して頂いた会員さんも出るなど、実践的な防災体制に一步前進できたかなと思っております。

防災研修会においては、県の道路環境課様による県の防災体制についてご講義をいただきました。講義を聴くだけでなく、県の意図や組織・体制を知ること、より当協会の防災体制を向上していくことにつなげていきたいと思っておりますので、アイデアをお持ちの方は、是非、協会までご連絡下さい。

また、昨年度は福島にお伺いして情報収集を行いました。今年度は京都電業協会様から色々とお話しを聞くことができましたので、こちらも当協会の発展・向上につなげていけるように努めて参りたい所存です。

渉外活動については、是非とも増注につながる活動を積み重ねたい意向を持っております。例年通りの活動は行いましたが、もう一步踏み込んだ活動をしたかったというのが正直な思いですので、来年度は、具体的な提案を出していきたいです。

会員の皆様にも引き続き活動への御支援・御協力・御意見を頂けますようお願い申し上げます。

(1)災害防止事業

①震災訓練等

開催日時、場所	内 容	出席者・対象等	備 考
平成30年 8月28日	協会独自の情報伝達訓練	全会員 111社	
8月31日	千葉県県土整備部との 合同震災訓練	本 部 11名参集 地 区 7名実働	県内全域

②県出先機関防災説明

実施日	内 容	出席者・対象者	訪問先
平成30年 6月12日～ 7月5日	災害応急対策組織及び災害応急 業務について	地区担当理事 防災・渉外委員 防災隊長、事務所隊長	県出先機関 21事務所

③その他災害応急対策に係る事業

開催日時、場 所	内 容	出席者・対象等	備 考
平成30年 7月24日 オークラ千葉ホテル	防災研修会① テーマ 『災害時における県土整備部の対応計画について』 (講師) 県土整備部道路環境課 主査 秋山 英樹 氏 防災研修会② テーマ 『情報伝達訓練について』 (講師) 防災・渉外委員	会員 70名	
10月23日 建設業センター会議室	救命講習会 (講師) (公財)千葉市防災普及公社 川口 氏・秋葉 氏	会員他 21名	
平成30年 11月16日 京都府	他県電業協会との情報交換 (京都電業協会訪問)	五十嵐会長 佐藤副会長、南山理事 植草副会長、細矢理事	

(7)公共工事発注機関への陳情・提言等事業

月 日	陳 情 先	陳 情 者	内 容
平成30年 4月11日	県土整備部 教育庁 他 公 社	会長、副会長3名 南山理事、常務理事	・県異動挨拶 ・会員への優先発注 ・分離発注の積極導入について
6月	県出先機関 21土木事務所 他 59か所	地区担当理事 防災・渉外委員 他	・県出先機関等異動挨拶 ・会員への優先発注 ・分離発注の積極導入について
9月11日	県土整備部 営繕課 施設改修課 教育庁企画管理部 財務施設課	会長、副会長3名 防災・渉外委員長 技術・人材委員長 常務理事	県との意見交換会 ・働き方改革を進めるための全面協力について ・入札の指名について ・軽微な設計変更について ・承諾図書の回答について
11月 9日	千葉県	五十嵐会長 鎌形常務理事	意見交換会
12月 5日	関東地方整備局	五十嵐会長	意見交換会

※意見、要望、提案事項等の内容につきましては、HPをご覧ください。

委員会報告 技術・人材委員会

委員長

細矢 充



新年明けましておめでとうございます。

昨年は、関係各位のご協力を賜り、経営に役立つ研修会をはじめ技術向上・資格取得・営業活動支援など年度計画通り実施することが出来ました。会員企業から数多く参加を頂き、各事業とも盛会で終えることができました。深く感謝申し上げます。

2020年、オリパラ東京大会まで早いもので1年と数ヶ月と迫りました。今年はラグビーワールドカップが開催されます。さらに、2025年には大阪万国博覧会の招致が決定しました。世界的行事に胸が躍ります。インバウンド効果や設備投資など経済波及効果にも大いに期待したいところです。ゆえに少子高齢化から技術者不足はさらに深刻化します。電気工事業界を取り巻く環境は厳しい状況にあり、将来のためにも、担い手三法の改正や働き方改革実行計画を踏まえて、生産性の向上や適正な工期設定などによる長時間労働の改善、労働環境の整備、若手入職者の育成・促進・定着が求められています。

当委員会では、各会員の技術の研鑽、経営品質の向上、安全確保を目指し、委員会活動を進めております。

昨年より千葉職業能力開発促進センターと当委員会で千葉県電設分野人材育成研究会を立ち上げ、当協会に特化した教育訓練カリキュラムを策定し、千葉県の電気設備工事に携わるやる気のある人材を育成し、確保するとともに会員企業の技術レベルの向上を目指しています。

同時に男女共同参画活動に取り組み、“技術と信用”を高めたいと考えています。

引き続き、関係各位や会員の皆様からご指導ご鞭撻を頂き、よりお役に立てる『技術・人材委員会』を目指してまいります。本年も何卒、宜しくお願い申し上げます。

(3)講習会事業

開催日時、場所	内 容	出席者・対象等	結果等
平成30年 4月17日 18日 経営者会館	1級電気工事施工管理技術 検定学(学科)試験受験準備講習会 (地域開発研究所 共催)	受講生 会 員 22名 非会員 11名 地域開発 35名	筆記試験合格率 全国 56.1 % 協会 68.8 %
8月29日 経営者会館	1級電気工事施工管理技術 検定(実地)試験受験準備講習会 (地域開発研究所 共催)	受講生 会 員 24名 非会員 8名 地域開発 48名	

(4)事故防止事業

①安全研修

開催日時、場 所	内 容	出席者・対象等
平成30年 7月24日 オークラ千葉ホテル	安全研修会 「労働災害 発生直後とその後の対応について」 講 師 建設業災害防止協会千葉支部 事務局長 神田 公司 氏	会 員 67名

(5)資機材調査研究事業

①資機材調査研究

開催日時、場 所	内 容	出席者・対象等
平成30年 9月19日 Ocean Table	賛助会員との情報交換会	役 員 4名 委 員 7名 賛助会員 11名

(8)人材の確保及び育成事業

開催日時、場 所	内 容	出席者数
平成30年 4月4、5、6日 オークラ千葉ホテル	新入社員研修会 (千葉県建設産業連合会 共催)	会 員 11名
平成30年 9月19日 建設業センター会議室	経営研修会 テーマ「経営者サイドから見た働き方改革」 講 師 オーリンク社会保険労務士法人/(株)オーリンク 代表 社会保険労務士 小田切 朋子 氏	会 員 19名
11月15日 協会会議室	人材育成研究会・打ち合わせ	委 員 3名、ポリテク 2名
11月20日 オークラ千葉ホテル	技術研修会 ・「工物品質向上のために」 ～施工計画書・工程管理・安全管理・創意工夫他～ 講師:全国設備業 IT 推進会 株式会社 建設システム 首都圏営業所 玉寄 竜也 氏 ・「電子商黑板について」 講師:同 上 ・「施工計画書の作成について」 講師:千葉県県土整備部営繕課 副技監 岩井 嘉弘 氏	会 員 57名 賛助会員 3名
12月26日 協会会議室	人材育成研究会・打ち合わせ	委 員 2名



委員会報告 総務・企画委員会

委員長

中村和彦



新年明けましておめでとうございます。

総務・企画委員会より、昨年の委員会報告をさせていただきます。

当委員会のメイン事業である就労支援事業について、昨年度は今はまだ種を蒔いている時期で我慢時かとも思っており、状況が歯がゆくもありましたが、それも徐々に芽が出てまいりました。インターンシップの受け入れも増えつつあり、当協会の会員企業にも就職者が増えています。平成29年度のインターンシップにおいては、46名の生徒・学生を会員企業が受け入れたという結果が出ています。

最近の工業高校の生徒たちは、地元の企業に就職したいという傾向が強く、電気課を卒業したのに近隣の大きな工場等(電気とは直接関係のない)に就職しているのが現状です。おそらく、彼らもこんなはずではなかったけれど、「石の上にも三年」と思って働き続けているのだと思います。工業高校の先生たちもその辺の事情を把握しており、生徒たちを当協会の会員企業へ導くのが最良の道だと少しずつ理解してきているようです。

人の一生を左右させる就労支援事業、いや企業の存続を握っているといっても過言ではないと思います。今後も当委員会の活動にご協力・ご理解をいただき、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

就労支援事業

開催日時、場所	内 容
平成30年	
1月30日 東総工業高校	出前授業
2月 8日 千葉工業高校	出前授業
2月22日 市川工業高校	出前授業
4月 全会員向け	人材育成・確保に関する調査の実施(採用状況、インターンシップ受入れ等)
6月 1日 ポリテクカレッジ千葉	出前授業
6月 県内工業高校等9校	人材育成・確保に関する調査の実施結果及び各学校の就職率等についての訪問調査
11月26日 柏市立田中小学校	CCIからの要請による出張授業(電気)

広報関係

開催日時、場所	内 容
	<ul style="list-style-type: none"> ・HPの更新 ・各行事 予定、案内、報告 ・人材情報 ・他団体からの各案内 ・建設新聞各紙への取材依頼 ・1級電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会の一般募集 ・通達等 国関係、関東地方整備局、県関係、その他 ・入札公告 北関東防衛局